

# ほらけん

346 寿命



## 大崎短歌会

兼題「巢立ち・自由」

この家より初巢立ちゆく孫娘

大学への道輝く未来

親元を巢立ちし曾孫のたよりには

食事作りの苦と楽 るると

あと一歩輝く明日へ大志抱く

受験子の冬 福寿草咲きをり

春盛る西迫のお宮の老櫻

季節を忘れず今年も咲けり

小書棚にカラスの巢立ち記したる

高二の自由研究誌あり

届きたる荒佐まつりのプログラム

地区の交流舞の奉納

巢立ちゆく白衣の君のまなざしよ  
しなやかな手よ世の柱なれ

栞山重子

穂園芳江

井元かず子

実吉安仁

山下海征

川崎健一

馬場みさ

木の間より漏れる朝日の光揺るる

巢立ちの孫の希望に届け

りくりゆうの食事手本にしてみたり

取り戻したき健やけき脚

本後淑子

上南紀子

## 薩摩郷句

兼題「厄介」

卒業式 長年厄介なつ

(唱) 有難てかった 毎日の弁当

二見愚楽満

厄介事ちや 全部女房が 片付けつ

(唱) 頼らない女房 次も頼んど

上窪小絵

ハンセン病 厄介な差別ちや まだ続じつ

(唱) 罹らせん言が 冷んで大世間

井上三ちゃん

議が多けで 厄介な役くば また背負つ

(唱) 人徳じゃろち 嬉し本人

諸木小春

こら厄介 講師見ながい つん眼ぶつ

(唱) 我慢が出来ん 先生御免

佐藤ぼつけちゃん

無口者 飲めば厄介な 大酔漢れなつ

(唱) 平常の彼奴ち 思えん大酔漢

遠矢耐多

こら厄介 大学途中で 嫁こ言でつ

(唱) 金ぬ戻せち 両親は怒けつ

上村牛歩

こら厄介 ガソリン値上げ 心配を焼つ

(唱) 大概な所迄や 歩まないかん

満石うらら

欺ぎ嵌つ 厄介じや家は ちんがらつ

(唱) 退職金も 全部取られつ

西ノ園ひらり

厄介んな ならんち言たが 寝込んだ爺

(唱) 本心じやすまんち 思もちよい爺様

藤元鬼瓦

厄介な衆 女総理ん イエスマン

(唱) ただはいはいち 何もえ言わじ

長重リリー

散歩をば 取付つ強要い 厄介犬

(唱) 叱いな可哀相しゆし 仕方なし散歩

下橋清天